

# 磐城日報

白銀町十一  
電話(呼)一〇三八番  
編集発行人後藤幸夫  
印刷入丸山徳平  
毎週水曜日休刊  
毎月三十回一部一四  
時から炭労會館で第三並  
印刷業者山本徳平  
毎月三十回一部一四  
時から炭労會館で第三並  
印刷業者山本徳平  
毎月三十回一部一四

## 市と郡を通じ 縣税滞納一億圓突破

整理は相當困難が豫想

石城地方事務所に於ける二十四年度の縣税調定額は一億八千九百九十一萬三千四百七十二圓で

これに對し現在迄の納稅額は一億七百四十五萬九千六百五圓で差引滞納は八千二百四十五萬余圓となつてゐるがこの外平市の分が一千九百四十二萬余圓滞納るので合計は一億を突破してゐるのは極端な金詰り一般商店界から農村を見舞つて結果で今後この一億圓の整理には相當の困難が豫想されている

## 配給のウドン 半分は辞退

結局労務用に廻る

食糧が豊富に出廻ると共にのところ一般家庭から敬遠主食が毎月米だけで二十日

側は終戦ちよく後頃のアノ苦しかつた時の事を忘れているが最近一番嫌われたのは現在配給中の色の浅黒いウドンで平市内の各配給とこれは元締の食糧公團でも悲鳴をあげているが結局

## 配給ウドン粉は 今後白いものばかり

大クジラ水揚?  
小名濱で見物人が黒山

江名町北町船主中田宇之助さん所有第二諏訪丸は昨十日豊間沖合で漁業中漂流しているまつこう鯨(長さ六間 時價三十萬圓)相當を發見ただら

## 木炭統制廢止後 生産は若干落ちる

お米配給六日  
白い粉が二日分  
三月中旬の平市の主食配給は米が六日分むぎ二日分後の二日分は白い小むぎ粉である

木炭のワクもいよいよ今月込みであるがワクが外れたまま現在のところでは相當の量に達している

善行者表彰

第一波のストを外した常磐炭礦勞組は第二波である十四日から三日間のストに参加する事に大体まとまつた模様であるが他の中、小炭礦に於ては依然不参加が多くなつてゐる

木炭のワクもいよいよ今月込みであるがワクが外れた善行者及び綱方の成績優秀な兒童、生徒に対する

殉難者の法要  
平野橋地区性源寺で殉難者追悼法要を營み剩余金三千圓を民生助成會に寄附した

第二波後の國争ノ針を協議  
磐炭勞協では十四日午前十時から炭労會館で第三並にそれ以後の國争はう針並に炭労全國大會等に就て協議する

業者に聞いて見たら  
統制廢止後は運賃のブル計算もなく資金の運轉も正常しかしこした事は統制がやりにくくなるといなくなつた當時だけの事で半年なり十ヶ月なり過ぎてだけに近きよ離の消費地は安くなり遠ほうはそのけば自然と生産は増してい

て賣るほうを競争するようになるから結局よく生産は低調となるう事はブル計算でない

に就て小河の某生産業者に聞いて見たら  
統制廢止後は運賃のブル計算もなく資金の運轉も正常しかしこした事は統制がやりにくくなるといなくなつた當時だけの事で半年なり十ヶ月なり過ぎてだけに近きよ離の消費地は安くなり遠ほうはそのけば自然と生産は増してい

て賣るほうを競争するようになるから結局よく生産は低調となるう事はブル計算でない

方事務所から若い係員が督促に來た、主人は金詰りによる營業の苦しい状態を説明し三萬円に對して苦心して調達した二萬圓を差し出して残額は割合を納入するからと分割納を懇請したがこれに對し係員は「上役から話でそんな事は絶対に出来ない」と云々もな

く断つた、その爲氏は遂に莫大な延滞利子を負擔するようになつた、税は何税によらず指定の期日に納むべきであり原則として分納などのされべきでない位の事は何人も承知しているしかし現在のように深刻な金詰りでは分納もまた止むを得ない事であろうと思ふ、しかるにそれを聞き容れず、徒らに利子の負担を強いるような事は徵稅の精神にものどるのではあるまいか、吾人は納稅者全部に分納をゆるせといふのではなく分納も時と場合によつて認められたいといふのである、假りに分納に對し縣にそうした取扱規定がなく從つて事務所に決定權がないというなら、百パーセントの徵稅成績を見る上からも縣に上申してその途を拓くべきであらう、

市内の乳製品小賣

### ◎三十三店が決定

三内は契約  
渡邊一雄（廿六万二千三  
百九十三圓）高木義明  
廿三万二千八百八十八四

は徴収した県秋九万七千圓を机の引出しに入れておいたところ三万圓が何者かに盗まれたと市署に

置いた力がお互いによいと思います

土建設工木築計材  
市六丁目一六  
販賣社長正平鈴木工業株式會社

小賣店は去る一日付で次の 如く決定八月末迄煉乳、粉 乳並に幼兒食Aの取扱いを	行う	大平屋藥局	(一町目)
水野藥局	（田町）	豊 鈴木 郁子	（古銀治）
藤 藥局	（佐木智康）	あこう 薬局	小野薬支店
市川 祐 越 堂	（柳町）	阿部 藥舗	（白銀町）
松 月 堂	（西村屋）	神谷 藥局	佐々木智康 （鍛冶町）
鈴木 郁子	（福島屋）	ホシ 藥局	福島屋
あこう 薬局	（關内薬局）	小野 夕カ子	（白土屋正藏）
阿部 藥舗	（堀薬局）	（長橋町）	（古銀治）
神谷 藥局	（西村屋）	西村屋	（田町）
鈴木 郁子	（小西食品店）	小野 夕カ子	（三町目）
平 藥 局	（堀薬局）	（長橋町）	（三町目）
菅野 芳夫	（西村屋）	（新川町）	（古銀治）
左川 商店	（中町）	（新川町）	（白土屋正藏）
（道立小路）			

七十六圓)シシ戸武雄(廿二万一千三百三十圓)吉原幸一郎(廿萬三千五百六十三圓)

索に乗り出しがたが伊藤の言葉がアマイなので追  
求したところ盜難はウソで三万圓は生活費に困つ  
て使い込んだ旨八日白石天侯を訴へて其の上  
行以内で建設的な意見の投稿を歓迎いたします  
（係）

本場自慢の霜降牛肉  
豚最上肉 —— 190圓  
豚徳用肉 —— 90圓  
夜間の御注文は 電話 539番  
◎一丁目……中央通り ◎電話 794番  
—— 緑屋牛肉店 ——

石城郡三十九万七千六百	平市三万四千三百十四人
五人で男、女別によると平 市は女の方が千五十六人多 く郡部は反対に男が三千五 百五十六人多くなつてゐる	五人で男、女別によると平 市は女の方が千五十六人多 く郡部は反対に男が三千五 百五十六人多くなつてゐる
銃砲類所持は必ず届け出る事	銃砲や刀劍類を無届で所持 すると嚴重處罰されるが平
者として大臣から表彰さ れるが何れも永年勤続者で その道の猛者連である（カツ	直接大臣から 拔群の成績を挙げ 平局の簡保勸誘員である の五氏は昨年中の成績優良
の道の猛者連である（カツ	の道の猛者連である（カツ

の近所の齋藤源八さん方から出火したまま同家は全焼したがその際猛火の中から救いを求める聲がさすかに聞こえたので同君は死を覺悟して紅蓮のぼのほの中に飛び込み幼児と老はの二人を焼死す前に見事救出したという大人も及ばぬ行爲を行つたものである。

とは無理な注文かも知れません。が大体に於て石炭の一俵の量は九貫又は十貫又入りが本當ではありますまい。それで七貫又位ではありますまい。平車内にはこんな石炭屋さんがかりがある譯でない下さい。ようけれど一軒でもあると皆が評判を悪くしますから賣る時には目方をあらかじめはつきりして

平と石城の人口  
三十三万九千九百十九人

▼(茨城)猿島郡香取村中學二年生鈴木弘君(13)はこの程縣知事と同村々長から人命救助で表彰されたがこの美談は昨年十月十一日折柄の烈風中弘君

貫刃位しかないのです  
もつとも私は石炭屋さん  
に一俵持つて來て下さい  
とお願ひしたもので「何  
貫刃入りのもの一俵持つ  
て來て」と頼んだ譯でな  
いから今更ら目方を示せ

用なら 一俵でも 配達致します

此の裁断仕立。價格  
高級男子注文  
洋服婦人服流行型  
春物生地同純毛羅沙豊富在荷  
春物の洋服御仕立は技術に關心をお持ち下さい  
はじめてのお方は何はともあれ御試めし下さい  
1950年式流行型裁断は技術及び自信満々の  
平二丁目大床横町（紅小路）の  
着る身になつて造る  
渡邊良平洋服店に  
お任せ下さい（先生地注文歡迎）

日翌の御引立御祝として御子様才媛等其御父  
學進學用純綿學童服を  
特價奉仕致して居ります

花に更上錦の開店祝いを賀す  
中華料理の「平華」は  
御客様のおすすめに應へて本場  
其のまま江戸前すしを  
はじめました  
御試食をお待ちして居ります  
平華前  
電九〇八

此の裁断仕立。價格  
高級男子注文  
洋服婦人服流型  
春物生地同純毛羅沙豐富在荷  
春物の洋服御仕立は技術に關心をお持ち下さい  
はじめてのお方は何はともあれ御試めし下さい  
1950年式流行型裁断は技術及び自信満々の  
平二丁目大床横町（紅小路）の  
着る身になつて造る  
渡邊良平洋服店に  
お任せ下さい（先生地注文歡迎）

(岩波版)  
六法全書 700  
日本植物圖鑑 450  
入荷致しました  
材木町角  
イシャマ書店  
電 454

皆様の憩の一時に  
映畫の雑誌を  
御用なら一俵でも  
セメントの  
配達致します

本場自慢の霜降牛肉

豚最上肉 —— 190圓  
豚徳用肉 —— 90圓

夜間の御注文は 電話 539番

○一丁目……中央通り ○ 電話 794番

—— 緑屋 牛肉店 ——